

「子どもの現状」と「要因」に関するこれまでの意見集約

	学ぶ意欲	自尊感情	規範意識	体力
子どもの現状	【学習意欲の低下】 40年連続低下傾向にある。 気力がない。	【自信がない、自己肯定できない】 自分に自信がない、「自分は だめな人間」と考え、長所が言 えない子どもが多い。	【善悪の判断、思いやりのなさ】 善悪の判断ができていない。 弱いものへの思いやりがない。	【体力の低下】 体力は年々低下している。 全国平均と比較して低い。
	【学習意欲の格差】 学習意欲に差が生じている。	【夢や目標がない】 夢や目標をもてない。	【基本的生活習慣の未定着】 しつけ等、基本的な生活習慣 が身につけていない。	
	【ねばり強さ、挑戦力のなさ】 苦勞せず課題を解決しよう、 自力解決せず安易に答えを求め ようとする。	【自発性、自律性の遅れ】 自己主張ができない等、自発 性や自律性の発達が遅れている。	【メディアへの対応の未確立】 有害情報の対応が不十分。	
	【受け身的態度】 言われたことしかしない。		【コミュニケーション、人間関係の希薄】 遊びがほとんどできず、人間 関係もうまく築けない。	
	【学習習慣の未定着】 学習習慣が身に付いていない。			
その要因	【学ぶことの意義】 「なぜ学ぶのか」という学ぶ 意義が子どもの中で確立されて いない。 上級学校に合格することを最 大の目標と考えている。	【ほめる、認める】 よい面をほめず、悪い面だけ を指摘し、直そうとする。 認める機会が少ない。	【大人の姿勢】 大人のマナーが悪いなど、社 会全体の規範意識が低い。 社会や学校が規律、責任を身 に付けさせていない。	【過保護、過干渉】 けがを心配して、子どものチ ャレンジ精神を押さえてしまう。
	【分かる授業】 学習意欲が低い理由の第1位 は「授業がわからない」である。	【社会貢献、挑戦、達成感】 人や社会に貢献する喜びや挑 戦した達成感などを感じる機会 が少ない。	【人間関係の希薄】 表層的で限られた人間関係。	【地域の安全】 社会の治安の悪さが子どもの 遊びの機会を奪っている。
	【結果平等】 全て平等で競争心がなくなっ ている。	【子どもを伸ばす気持ち】 親も夢ややりがい等、子ども を伸ばすという気持ちが少ない。	【親の養育態度】 深夜営業店の利用など、大人 の都合で、子どもの生活が守ら れていない。 子育てや躾などがわからない 親が増えている。	【学校の小規模化、子どもの多忙化】 学校の小規模化や子どもの生 活の多忙化で、遊ぶ仲間、場が 不足している。
	【過保護、過干渉】 先回り、手の出しすぎで、学 ぶ楽しさ、必要性を感じない。	【体験不足】 社会体験等が乏しく、過剰体 験と欠損体験がアンバランス。	【メディアの影響】 人を傷つける言動、情報の一 方通行等、TVの影響が大きい。	
	【親の意識・価値観】 学校がサービス業という意識。 親の学校に対する否定的な言 動と教師の自信喪失。	【過保護、過干渉】 自分の力が芽生える機会を十 分にあたえられないまま成長。	【地域コミュニティ】 親が地域への関心が低く、人 との関わりを面倒と感じている。	